

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年07月27日

計画の名称	京丹後市における浸水対策の推進（第3期）（防災・安全）（重点計画）													
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	京丹後市													
計画の目標	・ 浸水対策の整備が遅れ生活に支障が生じている地区において、雨水ポンプ場等の施設整備を行い浸水家屋の低減を図る。 ・ 第1期ストックマネジメント期間が令和7年度までとなり、計画の見直しには2か年かかるため、令和6年度からストックマネジメント計画の見直しに着手する。 ・ 想定最大規模降雨による内水で浸水が想定される区域を定め、住民の自助の促進を図り、関係者が協力してハード整備も合わせた総合的な浸水対策を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		359	A	359	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4年度末	R6年度末
1	小栓川排水区を含む網野地区の対象面積203.6haについて、浸水対策達成率を向上させる。			
	網野地区（203.6ha） 浸水対策達成率 = 整備済排水面積 / 計画排水面積（203.6ha）	69%	83%	100%
2	ストックマネジメント計画の見直しを行う。			
	内ヶ森第1雨水ポンプ場、内ヶ森第2雨水ポンプ場、小栓川雨水ポンプ場	0%	0%	50%
3	内水浸水想定区域図を作成する。			
	網野地区（99.0ha）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-002	下水道	一般	京丹後市	直接	京丹後市	管渠（ 雨水）	新設	小栓川排水区浸水対策（ 管渠（雨水））	小栓川雨水幹線管渠 911m 松原雨水幹線管渠 116m	京丹後市	■	■	■	■	■	341		-
		通常の下水道事業（浸水対策）																	
	A07-003	下水道	一般	京丹後市	直接	京丹後市	ポンプ 場	改築	ストックマネジメント計 画	雨水ポンプ場 3箇所	京丹後市					■	7		-
	A07-004	下水道	一般	京丹後市	直接	京丹後市	-	-	内水浸水想定区域図作成	網野地区 99ha	京丹後市					■	11		-
											小計						359		
												合計						359	

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
京丹後市建設部土木課において、事業実施状況、指標の達成状況の確認及び評価を実施	令和8年7月
	公表の方法 京丹後市ホームページにて公表
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	小栓川雨水幹線の管渠整備により浸水被害の軽減が図れるとともに、浸水対策達成率が向上した
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	
京丹後市における浸水対策の推進（第4期）（防災・安全）（重点計画）にて事業の継続実施を行い、更なる浸水対策達成率の向上を図る	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	浸水対策達成率		
	最 終 目標値	100%	小栓川排水区において軟弱地盤対策等が必要となったことにより、事業進捗に遅れが生じたもの
	最 終 実績値	88%	
2	ストックマネジメント計画（全体計画・実施計画）策定率		
	最 終 目標値	50%	
	最 終 実績値	50%	
3	雨水出水浸水想定区域図作成率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	